



広島三育学院 中学校・高等学校通信



やまびこ
2022

6

真=信・心・ 新の学びと経験を求めて：次のステージへ

フォロワー

毎週金曜日の日没から土曜の日没までが、本校にとって特別な一日、安息日（聖日）となります。全ての学業や業務を忘れて、神様と仲間との深い交わりの時を持ちます。私も毎日の業務に追われて、この安息日を迎える時には疲れ果てている時もありますが、平日とは違う祝福を神様は私にたくさんプレゼントしてくださいます。ですから、安息日を迎えるのをいつも楽しみにしています。

ある安息日の朝、中学校の集会に参加していると、一人の女子生徒が手紙をくれました。「校長先生 今日は何の日ー？（せーの）安息日ー!! 聖句を教えちゃいます。『神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。ローマ 8:28』と書いてありました。私の一週間の仕事をふりかえると、ちょうど今必要な聖句が与えられ、この手紙をくれた女子生徒の優しい行為に大変励まされました。この手紙に書かれていた聖句は、次の一週間の私の仕事の原動力となりました。この女子中学生は、いつも教職員や生徒達に手紙を書いて渡している明るくて優しい子です。

新年度最初の教師会のディスカッションで提案された「Prayer Box」を中高の祈禱週のフォローアップ企画として始めました。祈ってほしい課題を紙に書いて、教員室前にあるPrayer Boxという箱に入れて、校長がその課題を教職員と生徒達専用の校内連絡通信システムを使って毎日配信する企画です。更に、ある教員の提案でこのPrayer Boxに入っていた祈りの課題一週間分を祈るために、毎週水曜日の昼休みに中高合同の祈りのプログラムの開始も始めました。本当に祝福された時間となっており、この学校は今、祈りによってリバイバルが起きて支えられていると強く感じております。

広島三育学院三原市キャンパスは、多くのものを必要としております。生徒数は思うように伸びていませんが、授業時間や活動内容が減るわけではないので学校のスタッフ数は維持していく必要があります。三育教育機関全体を見ると教師が不足しています。教師の不足は三育に限らず全国各地で大きな問題になっています。キャンパスは開校して45年が経ち施設の老朽化による維持管理が課題となっています。大きな特色教育の一つである労作教育で、この広大なキャンパスと施設、そして様々な業務を生徒達の手によって支えてきましたが、追いついていないのが現状です。その現状を知った同窓会、そして全国の教会やその教会の長老会がこのキャンパスが長く教育活動を続けられるようご尽力くださっております。多くの保護者の皆様も心配してくださり、お祈りや様々な形でご支援くださっております。この皆様のお支えによって大変励まされております。

今、社会や組織を動かすのに、リーダーシップだけではなく、フォロワーシップが必要とされています。様々な形で配信されているメディアも継続していくのに「フォロワー」が必要です。全国の三育教育機関は、聖書のマタイ7章12節にある「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」という御言葉を掲げて教育活動を行ってきました。そして広島三育学院の生徒達は卒業する際に、この御言葉を心に留めて献身して、国内外で多くの人の支えとなる「フォロワー」として活躍しています。三育教育で教えている「人を支える」ことができる人が、これからの社会に必要であると私は確信しております。このキャンパスで学んでいる生徒達が、卒業生に続いて、人を支えるフォロワーであってほしいと祈り願っております。

皆様も本校のフォロワーとして、教育活動の為にご加禱とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。校長 北林 聡

中 修養会 26日～30日

『友情』というテーマを掲げ出発した今年度の修養会では、長崎県内での学びのほかに、早



天祈禱会、チャプレンによる朝夕の礼拝、グループでの分かち合いの時など、友情について深く考え、「お互いを知り、受け入れ合う」機会が多く持たれました。天候や健康、安全また学びや交わりの全てが守られたことに感謝いたします。

最上級生として一致団結する経験が出来たこの修養会を新たなスタート地点とし、今後のサーバントリーダーとしての3年HR一人ひとりの活躍を楽しみにしています。(中学3年担任・高橋貴恵)

中 一泊旅行 29日～30日

2022年度の一泊旅行は5月29日～30日にコロナウィルス感染対策を徹底した上で無事に行うことができました。今年も2年HRが中心となって企画・運営を行っていましたが、今年のHR目標が「Do for others～挑戦～」としていたことから一泊旅行でも新しいことに挑戦しようと目的地を選ぶ所からHRで話し合いながら決めていきました。その結果、1日目がしまなみ海道サイクリング、2日目が香川県金比羅山表参道散策となりました。サイクリングについては自分たちで完走コースか途中までのコースか選択してもらいおよそ60キロのコースを選択した生徒



男女合わせて18名中17名が完走することができました。不安で途中何度もリタイアを考えた生徒たちが、最後まで走り切りゴールできた感動はひとしおでした。到底走りきれないよう

行事報告

に感じる長い道のりも仲間と支え合うことで達成できるのだという経験はこれからの生徒の人生の中で大切な思い出になっていくことを期待しています。(中学2年担任・山木肖嗣)

高 中間休みプログラム 27日、29日

高校は定期考査後の5月26日の午後から29日まで中間休みがあり、生徒は思い思いの時間を過ごしました。この期間に学校外で6つのプログラムを行いました。

27日(金)には、ほぼ貸し切りのビーチでシーカヤック体験をしたり、海を眺めながら散歩をしたりと海を満喫した“白石島ツアー”、総勢30名の生徒が1日中思いっきり体を動かした“フットサル”、福富町にある卒業生が営む自然食レストランの「カントリーグレイン」にて聖書研究と自然食を楽しんだ“バイブルリトリート”、さらには、広島市内にある県立美術館での現代アートの鑑賞と原爆資料館の見学ツアーも行いました。



また、快晴の中、29日(日)には東広島市にある“鎌倉寺山への登山”と4年前の豪雨災害(三原市内)で被災された方の畑の修復作業のために“ボランティア”に出掛けました。



キャンパスでゆっくりと過ごす生徒もいれば、様々なアクティビティーに参加した生徒もあり、皆が心身共にリフレッシュをすることができた中間休みとなったのではないかと思います。(高校教頭・齋藤広義)

Schedule for the Activities

中学校

高等学校

3日(金)～5日(日)	三育学院中学3年生来校	6月	10日(金)	3年マーク模試
11日(土)～12日(日)	春季PTA(リモート)		11日(土)～12日(日)	春季PTA(リモート)
10日(金)～17日(金)	オンラインPTA総会		10日(金)～17日(金)	オンラインPTA総会
13日(月)	振休(午後)			
24日(金)	弁論大会			
25日(土)～26日(日)	オープンキャンパス		25日(土)～26日(日)	オープンキャンパス
		7月	6/28(火)～4日(月)	沖縄中学3年生来校
3日(日)	サマーコンサート		3日(日)	サマーコンサート
4日(月)	振休(午前)		4日(月)	振休
8日(金)	第1回漢字検定		8日(金)	第1回漢字検定